

渡部かずふみ 議会だより

第12号 2010年4月6日



発行 渡部かずふみ後援会
沼津市宮本140
電話 055-924-7283
Fax 055-924-6186
発行責任者 山本 一彰
編集責任者 杉山 徹

渡部議員が「3人乗り自転車のレンタル制度導入等」を質す

第12回(2月)定例会は「平成22年度会計予算」を審議

会期 2010年2月12日(金)～3月23日(火)



定例会最終日、28議席案への議員定数条例の一部改正案に対し、賛成討論に立つ渡部議員

第12回(2月)定例会では栗原市長から「エコのまち沼津」、「人を大切にするまちづくり」、「地域資源の活用」、「合併問題」の4つを基本に据えた「人にやさしいまちづくり」、「安心安全のまちづくり」、「活力と魅力あるまちづくり」を柱とする施政方針が示されました。予算内容は市税収入が落ち込む見通しの中、敢えて積極予算を組まれ、景気回復へ向けた市長の強い決意の表れと受け止めました。定例会は市長の施政方針を受け、各会派からの代表質問及び個人質問が行われるとともに、平成22年度一般会計／特別会計・企業会計予算の議案審査が中心に行われ、当局提案の議題は一部を除き可決されました。渡部議員は個人質問で子育て支援策の一環として3人乗り自転車のレンタル制度導入や、共栄町交差点付近の渋滞解消策に対する当局の考えを質しました。なお、沼津市自治会連合会から直接請求された議員定数条例の一部改正(21議席案)は議員発議された改正案(28議席案)とともに否決されました。

* 施政方針は<http://www.city.numazu.shizuoka.jp/sisei/sisei_hosin/ap2010/admin-policy2010.htm>を参照。

議員定数削減方向に賛同するも28議席案を議員発議

～市自治会連合会からの直接請求を受け、会期を4日間延長して審査～

渡部議員は市民クラブの仲間とともに議員定数を削減する方向には賛同するものの、市自治会連合会の21議席案に反対しました。しかし、2月議会での決着が重要と考え、15人の仲間とともに議会運営に最低必要な議員数である28議席案を議員発議し賛成討論に立ちましたが否決されました。

1. 議員定数削減の方向には賛同するも、市自治会連合会の主張する「21議席案」には反対

静岡県内の市議会・町議会をはじめ全国の地方議会において議員定数の削減が進んでおり、時代に趨勢であると判断できることから、議員定数削減の方向性には賛同するものです。しかしながら、新年度から政令指定都市へ移行する神奈川県相模原市を含め、政令指定都市の議員数は52人から92人の幅にあり、議員一人あたりの人口は1.3万人から4万人が実態であります。これらを踏まえ、市自治会連合会が主張する「人口1万人に1人の議員」との考えを沼津市議会に当てはめることには無理があると判断し、反対せざるを得ませんでした。

2. 議会権能の行使、委員会重視の議会運営を担保するためには「28議席」までが限界

地方議会における「二元代表制&間接民主主義」を考えた時、いたずらに議員数を減らすことは住民側の力を弱める結果になりかねません。議会権能である行政機関のチェック機能を果たし、市民各層からの多様な意見を吸い上げるためには一人でも多くの議員が必要です。また、議会運営の根幹となる「委員会重視」を担保するためには正副委員長を含めた7人での委員会運営が下限であり、28議席(7人×4常任委員会)までなら減らすことが出来ると考えます。

3. リコールよりも議会内削減案の一本化に向けた努力を優先すべき

議員定数削減の問題は議会自らが結論を導き出すことが肝要であります。今2月議会で結論は出せませんでした。市自治会連合会が議会解散請求(リコール)に着手することは市民の理解が得られないと思われ。リコールから再選挙までに、署名集めをはじめ、住民投票などの高いハードルを越えなければならず、必要経費(税金)は約1億2千万円です。しかしながら、結果として議員定数は「34議席」のままであり、市民からのそしりは避けられません。

第12回(2月)定例会の主な議案 ⇒ 原案通り議決

平成22年度沼津市一般会計・特別会計・企業会計予算等を議決

第12回定例会では平成21年度関連議案と平成22年度関連議案を含め、「専決処分議案が2件、人事議案が1件、一般議案が16件、条例制定・改正議案が9件、補正予算議案が4件、予算議案が13件、議員発議による条例改正が1件の合計46件の議案を審議し、一部を除き原案通り認定・承認・可決されました。

.....◆以下は平成21年度予算に関連する議案である。

1. 市営住宅明渡し等請求事件の提訴

静岡地方裁判所に訴えの提起を行い、提起後において滞納家賃及び賃料相当使用損害金の支払承認がある場合は、訴訟上の和解をすることができる。(4部屋分)

2. 市営住宅家賃の支払に関する和解の申立て

沼津簡易裁判所へ和解の申立てを行う。なお、和解が調わないときは静岡地方裁判所へ市営住宅の明渡しならびに滞納家賃及び賃料相当使用損害金の支払を請求する訴えを提起する。(4部屋分)

3. 財産の取得の一部変更(鉄道施設移転用地取得事業用地)

沼津市土地開発公社への支払を前倒しすることに伴い、取得価格のうち利子相当額が減額になるため、沼津市土地開発公社からの取得価格を変更する。

4. 財産の取得(鉄道施設移転用地取得事業用地)

鉄道施設移転用地取得事業用地(11,397.22㎡)を沼津市土地開発公社から1,108,896,128円で購入する。

5. 財産の取得(校務用パーソナルコンピュータほか一式)

校務用PC(デスクトップ型:10台、ノート型:505台)を158,550千円で東栄商工(株)から購入する。

6. 財産の取得(教育用パーソナルコンピュータほか一式)

教育用PC(デスクトップ型:370台、ノート型:240台)を102,900千円で東栄商工(株)から購入する。

7. 財産の取得(教育用電子黒板)

教育用電子黒板を15,382,195円で(有)沼津教材社から購入する。

8. 沼津市国民健康保険条例の一部改正

国民健康保険法施行令の改正に伴い、保険料賦課について所得割額の算定規定を改めるほか、所要の改正を行う。

9. 沼津市グリーンニューディール基金条例の制定

地球環境の保全を目的として、市内における低炭素化を推進する事業に要する経費の財源に充てるため、基金を設置する。

10. 平成21年度沼津市一般会計補正予算(第5回)

今回の補正は267,548千円を追加するもので、その結果予算総額は76,812,451千円となる。内容は静岡東部拠点土地地区画整理事業費238,500千円、病院事業会計繰出金100,000千円、道路維持事業費100,000千円、小学校営繕改修事業費100,000千円が主なもの。減額するものは、子育て応援特別手当支給事業費200,000千円、沼津駅北拠点施設整備事業費192,250千円である。財源はそれぞれの特定財源のほか、一般財源として繰越金などをもって充てる。

11. 工事請負契約の締結(沼津市立第三中学校屋内運動場・(仮称)第三地区センター建築主体工事)

沼津市立第三中学校屋内運動場・(仮称)第三地区センター建築主体工事について、大岡建設工業(株)と497,469,000円で契約する。

12. 工事請負契約の締結(沼津市立小中学校太陽光発電施設設置工事)

沼津市立小中学校太陽光発電施設設置工事について、大岡建設工業(株)と1,076,250,000円で契約する。

◆これ以降は平成22年度予算に関連する議案である。.....

13. 指定金融機関の指定

平成22年6月1日から平成23年5月31日までの間における、本市公金の収納および支払の事務を取り扱わせる金融機関として、スルガ銀行を指定する。

14. 沼津市職員の育児休業等に関する条例の一部改正

地方公務員の育児休業等に関する法律の一部改正に伴い、育児休業等を行うことができない職員の範囲を見直すとともに、同一子について育児休業を再取得できる場合の最初の育児休業期間を定める規定を設ける。



宮下交差点方向へ交通渋滞が伸びる「三枚橋岡宮線」

15. 平成22年度沼津市一般会計予算

予算の総額は、歳入歳出それぞれ71,530,000千円で、対前年度比2.7%増であり、静浦地区バス通学援助費、障害児(者)支援施設整備事業、(仮称)ふれあいプラザ千本整備事業、しごとさがし支援事業、沼津の自慢産品発信事業、まちあるき拠点創造事業、ものづくり体験館運営事業、狩野川大手町護岸景観整備事業など、8の新規事業、15の一部新規事業を盛り込んだ積極予算である。

これまで渡部議員が一般質問で訴えてきた「特別養護老人ホーム増設整備、保育所整備、放課後児童クラブ新設・増設整備、子ども医療費助成制度、救命率向上対策、地震防災対策」などが盛り込まれた予算であり高く評価しています。

16. 平成22年度沼津市国民健康保険事業特別会計予算

予算の総額は、歳入歳出それぞれ21,800,000千円で、対前年度比2.8%増である。

17. 平成22年度沼津市交通災害共済事業特別会計予算

予算の総額は、歳入歳出それぞれ6,100千円で、対前年度比44.5%減である。

18. 平成22年度沼津市土地取得事業特別会計予算

予算の総額は、歳入歳出それぞれ77,800千円で、対前年度比27.8%減である。

19. 平成22年度沼津市老人保健事業特別会計予算

予算の総額は、歳入歳出それぞれ14,000千円で、対前年度比84.9%減である。

20. 平成22年度沼津市介護保険事業特別会計予算

予算の総額は、歳入歳出それぞれ11,300,000千円で、対前年度比1.8%増である。

21. 平成22年度沼津市簡易水道事業特別会計予算

予算の総額は、歳入歳出それぞれ9,100千円で、対前年度比1.1%増である。

22. 平成22年度沼津市温泉施設事業特別会計予算

予算の総額は、歳入歳出それぞれ21,300千円で、対前年度比7.4%減である。

23. 平成22年度沼津市後期高齢者医療事業特別会計予算

予算の総額は、歳入歳出それぞれ1,857,000千円で、対前年度比1.6%増である。

24. 平成22年度沼津市病院事業会計予算

収益的収入は病院事業収益で10,929,000千円、収益的支出は病院事業費用で11,187,848千円であり、資本的収入は企業債で850,000千円、資本的支出は建設改良費・企業債償還金で1,270,152千円である。診療業務の予定量は外来患者数を延206,550人、入院患者数(500床)を140,525人と見込んだもので、医療機器等の購入費として510,000千円を予定している。



平成26年度の本格供用に向け
工事が進む「沼津南一色線」

25. 平成22年度沼津市水道事業会計予算

収益的収入は水道事業収益で2,638,564千円、収益的支出は水道事業費用で2,707,328千円であり、資本的収入は企業債・補助金等で1,078,436千円、資本的支出は建設改良費・企業債償還金で1,966,672千円である。水道業務の予定量は給水戸数を103,000戸、年間総給水量を33,696,000m³と見込んだもので、建設改良事業費として1,456,378千円を予定している。

26. 平成22年度沼津市国民宿舎事業会計予算

収益的収入は国民宿舎事業収益および事業費用ともに5,549千円、資本的収入は補助金で5,051千円、資本的支出は企業債償還金で5,051千円である。なお、平成22年度も国民宿舎を休業とする。

27. 平成22年度沼津市下水道事業会計予算

収益的収入は下水道事業収益で3,977,000千円、収益的支出は下水道事業費用で4,161,400千円であり、資本的収入は企業債・補助金等で3,509,100千円、資本的支出は建設改良費・企業債償還金で5,041,900千円である。下水道業務の予定量は排水件数を39,289件、年間総汚水処理量を22,860,000m³と見込んだものである。

◆その他、交通事故等に関する専決処分の報告が2件、監査委員選任の人事案件が1件、市道路線の認定、駿豆地区広域市町村圏協議会の廃止、駿豆学園管理組合を組織する地方公共団体の数の増減及び駿豆学園管理組合規約の変更、第4次沼津市総合計画基本構想の制定、指定管理者の指定(沼津港展望水門施設、キラメッセぬまづ)などの一般議案が6件、平成21年度補正予算関連が3件、沼津市学校給食共同調理場条例の一部改正、沼津市図書館条例の一部改正、沼津市火災予防条例の一部改正、沼津市収入印紙等購入基金条例の制定、沼津市土砂等による土地の埋立て等の規制に関する条例の制定など条例関連議案が5件、沼津市自治会連合会の直接請求に伴う議員定数条例の一部改正(21議席)、議員発議による議員定数条例の一部改正(28議席)などの議案もありました。

第12回(2月)定例会、渡部かずみ一般質問

街中で見掛ける危険(違法)な3人乗り自転車(幼児2人乗り)は何故なくなるのか?の研究を進め、子育て支援の一環での行政支援が不可欠であると感じました。また、周辺住民から相次ぐ苦情が寄せられていた共栄町交差点付近の交通渋滞について、改善策を探っていたところ、同様の課題のあった裾野市で高性能信号機の効果が出ていることを知り、一般質問(個人質問)で質すべきと決意しました。今後も追求していきたいテーマです。



保育所へ急ぐ3人乗り?自転車

「質問」3人乗り自転車(幼児2人同乗自転車)の普及について

子育て支援の一環として3人乗り自転車への支援が広がりつつある。当局の「3人乗り自転車」に対する認識、普及を阻害している要因、助成制度及びレンタル制度の実施について認識を伺いたい。

「答弁」 3人乗り自転車については、平成21年7月1日より、一定の基準を満たした自転車に限り6歳未満の幼児を2人乗せて運転できることになった。一般の自転車による危険な3人乗りを防止する上では、基準適合車の普及は必要であると考えます。また、普及を妨げている阻害要因については、議員指摘(普通のタイプで5万~7万円程度、電動アシスト機能付きタイプで12万~14万円程度)のとおり、一般的な自転車より高価格であることなどが要因であると認識している。さらに、助成制度及びレンタル制度の導入については、今後、子育て世代を対象としたアンケート調査を行い、ニーズを把握するなど研究していく。

「質問」共栄町交差点を中心とする交通渋滞の解消策について

当局の現状認識と平成19年の暫定供用開始以来、渋滞解消に向けた施策にどう取り組んで来たのか?また、今後の取り組みとして、現状認識を踏まえた交通渋滞の解消策を伺いたい。さらに、都市計画道路沼津南一色線の本格供用に向けた交通渋滞対策の必要性について、当局の認識を伺いたい。

「答弁」 平成19年8月に暫定供用を開始した「三枚橋岡宮線と沼津南一色線」は、市北部の幹線道路と国道1号及び市街地とのアクセスが良いことから、交通が集中し、渋滞が発生している。そのため、市は国、県、警察などと連携を図り、渋滞緩和対策の協議を行って来た。その結果、平成19年度には、警察が共栄町交差点において南進右折信号の表示時間の延長を、平成20年度には、国が国道246号から静岡方面への通過車両を沼津インター線へ誘導する案内標識を設置した。さらに、平成21年度には、国、県が沼津インター方面から静岡方面への通過車両を国道1号に誘導する案内標識を各所に設置した。交通渋滞解消に向けた今後の取り組みについては、案内標識の充実や、交差点の信号表示の改善などを関係機関と連携しながら進めていく。市では、宮下交差点に北進車線を増設するなどの改良工事を来年度行う予定である。

平成26年度の沼津南一色線の本格供用に際しては、原状を踏まえた渋滞対策が必要と考えていることから、国、県、警察などの関係機関と連携し、交差点の交通処理方法の工夫、案内標識の設置や路面表示など様々な対策を行うことにより交通の円滑化を図っていく。

【市民クラブ代表質問】 ⇒ 二村祥一議員(静岡県教職員組合出身)が発言

栗原市長の施政方針に対し、会派・市民クラブを代表して静岡県教職員組合出身の「二村祥一議員」が次の通告内容(他議員の発言との重複部分は除く)で代表質問(一般質問)を行いました。

1. 新年度の主な取り組み

(1)人にやさしいまちづくり

- ①「エコのまち沼津」の推進
 - ア. 教室へのエアコンの設置について
- ②「夢ある人づくり」の推進
 - ア. 小中一貫教育の考え方について
 - イ. 小中一貫教育の普及について
 - ウ. 言語教育・中高一貫教育の評価について
- ③快適な生活環境の基盤整備
 - ア. 身近な公園等の整備について

(2)安心安全のまちづくり

- ①子育て支援の充実について
- ②保健・医療の充実について
 - ア. 市立病院の経営について

(3)活力と魅力あるまちづくり

- ①中心市街地の整備の推進とにぎわいの創出
 - ア. 駐車場の確保について
 - イ. 公共交通について
- ②地域経済の活性化の推進
 - ア. 仮称・ものづくり体験館の開設について
 - イ. 水産業の育成について
- ③地域資源の活用
 - ア. 辻畑古墳と道路整備について
- ④道路交通網の整備
 - ア. 国道414号バイパスの整備について

2. 行財政運営について

- (1)市役所内部の連携について